

「省エネルギー計画書」

平成 年 月 日作成

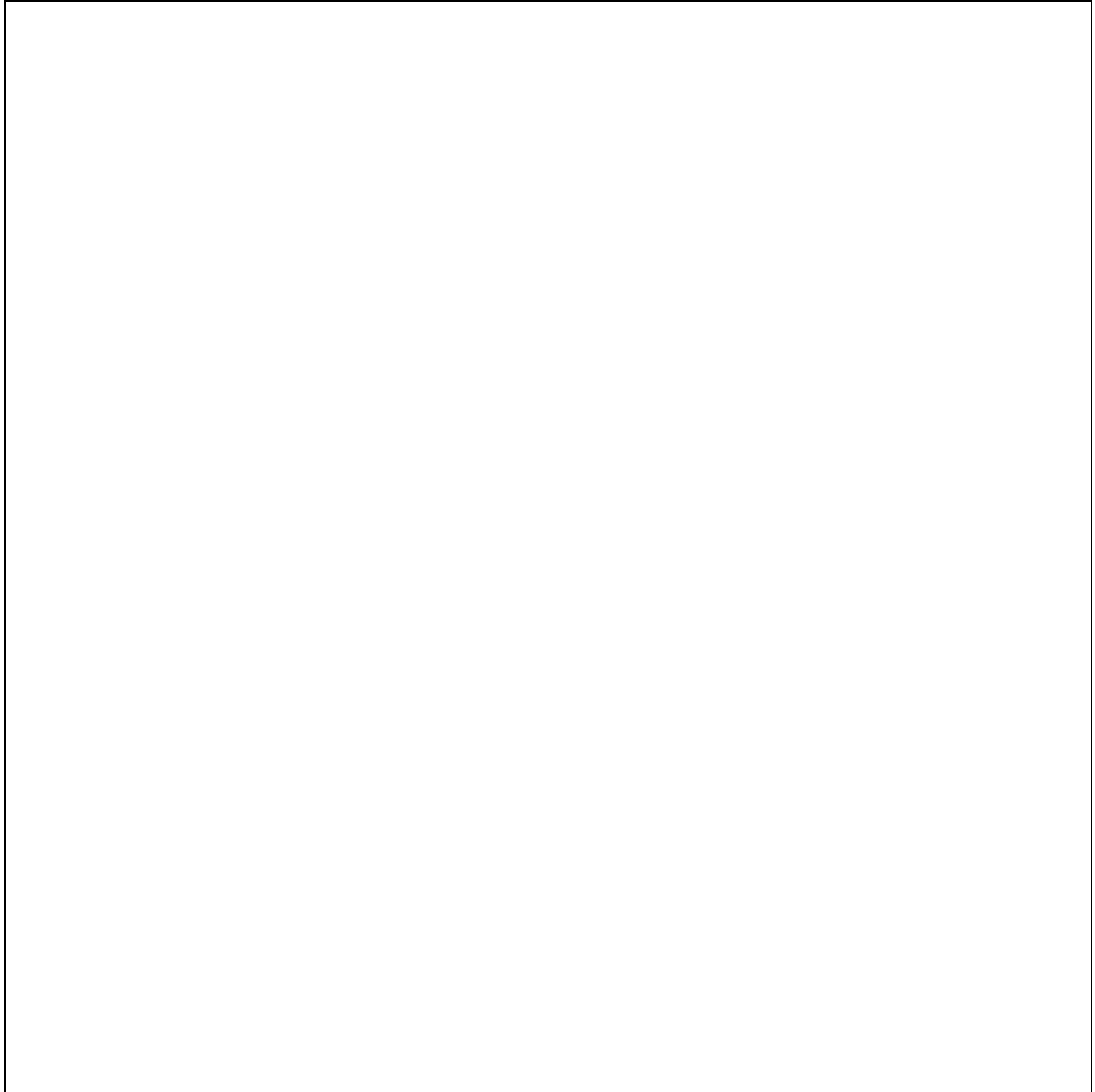
建築主	社名及び氏名						
	住 所					TEL	- -
設計者	氏名(代表者)						
	事務所名					TEL	- -
	所在地						
計画書作成者氏名		( IBEC 登録番号 : )					
工事着手予定年月日		年		月		日	
適用した基準		1. ホテル等基準 2. 病院等基準 3. 物販店舗等基準 4. 事務所等基準 5. 学校等基準 6. 飲食店等基準 7. 集会所等基準 8. 工場等基準					
建築物の概要	名 称						
	建 設 地						
	用 途						
	工 事 種 別						
	高 さ	m		階 数		地上 階, 地下 階	
	構 造						
	敷 地 面 積	m <sup>2</sup>		建 築 面 積		m <sup>2</sup>	
延 べ 面 積	( ホテル等 m <sup>2</sup> 病院等 m <sup>2</sup> 物販店舗等 m <sup>2</sup> 事務所等 m <sup>2</sup> 学校等 m <sup>2</sup> 飲食店等 m <sup>2</sup> 集会所等 m <sup>2</sup> 工場等 m <sup>2</sup> その他 m <sup>2</sup> )		( うち地上部分 m <sup>2</sup> ホテル等 m <sup>2</sup> 病院等 m <sup>2</sup> 物販店舗等 m <sup>2</sup> 事務所等 m <sup>2</sup> 学校等 m <sup>2</sup> 飲食店等 m <sup>2</sup> 集会所等 m <sup>2</sup> 工場等 m <sup>2</sup> その他 m <sup>2</sup> )				
	平均階床面積		m <sup>2</sup>		屋内周囲空間の床面積		m <sup>2</sup>
建築計画	主要部分の熱貫流率等	部 位	熱貫流率 W / ( m <sup>2</sup> · K )			日 射 侵 入 率	
		外 壁					
		屋 根					
		窓					
	外気に接する床						
熱負荷	期間暖房負荷					MJ / 年	
	期間冷房負荷					MJ / 年	
	年間熱負荷					MJ / 年	
年間熱負荷係数					MJ / ( m <sup>2</sup> · 年 )		
上欄の計算方法	1. 拡張デGREEデー法 ( 詳細法 ) 2. 拡張デGREEデー法 ( 簡易法 ) 3. その他 ( )						
建築計画における主要な省エネルギー手法	1 複層ガラスを採用 2 屋上緑化を整備 3 その他 ( )						

設 備 計 画	空 気 調 和 設 備	年間空気調和消費エネルギー量	MJ/年
		年間仮想空気調和負荷	MJ/年
		空調エネルギー消費係数(CEC/AC)	
		上欄の計算方法	1.全負荷相当運転時間法(EFH法) 2.シミュレーションプログラム「BECS/CEC/AC」 3.その他( )
		空調計画における主要な省エネルギー手法	1 外気負荷の軽減 2 マルチ方式の採用 3 高効率熱源機器の採用 4 その他( )
	機 械 換 気 設 備	年間換気消費エネルギー量	MJ/年
		年間仮想換気消費エネルギー量	MJ/年
		換気エネルギー消費係数(CEC/V)	
		上欄の計算方法	1.詳細法 2.その他( )
		換気計画における主要な省エネルギー手法	1 濃度制御、照明連動制御等の採用 2 高効率低圧三相かご形誘導電動機の採用 3 その他( )
	照 明 設 備	年間照明消費エネルギー量	MJ/年
		年間仮想照明消費エネルギー量	MJ/年
		照明エネルギー消費係数(CEC/L)	
		上欄の計算方法	1.詳細法 2.簡略化法 3.その他( )
		照明計画における主要な省エネルギー手法	1 コンパクト型の蛍光灯の採用 2 制御方法の工夫 3 タスク・アンビエント照明方式の採用 4 その他( )
	給 湯 設 備	年間給湯消費エネルギー量	MJ/年
		年間仮想給湯負荷	MJ/年
		給湯エネルギー消費係数(CEC/HW)	
		上欄の計算方法	1.略算法M 2.略算法Y 3.その他( )
		給湯計画における主要な省エネルギー手法	1 循環ポンプの制御の採用 2 自動給水栓の採用 3 節水型の自動温度調整付き制御の採用 4 その他( )
エ レ ベ ー タ ー	年間エレベーター消費エネルギー量	MJ/年	
	年間仮想エレベーター消費エネルギー量	MJ/年	
	エレベーターエネルギー消費係数(CEC/EV)		
	上欄の計算方法	1.詳細法 2.その他( )	
	エレベーター設置計画における主要な省エネルギー手法	1 可変電圧可変周波数制御方式(電力回生制御あり)を採用 2 可変電圧可変周波数制御方式(電力回生制御なし)を採用 3 その他( )	
エネルギー利用効率化設備等の概要		( )	

注 1)ホテル等，病院等，物販店舗等，事務所等，学校等，飲食店等，集会所等及び工場等のうち複合の用途に供する建築物であって，複数の基準を適用するものについては，建築計画及び設備計画を基準ごとに別葉で作成すること。

注 2)エネルギー利用効率化設備等の設置により，エネルギーの量の熱量への換算に告示別表第3に掲げる数値を下回る数値を用いる場合には，「エネルギー利用効率化設備等の概要」の欄の( )に当該換算に用いる数値を記入すること。

基 準 階 プ ラ ン



	外 壁	屋 根	窓	外 床
主要構造部の標準仕様の断面				

## 空 調 系 統 図

注) ホテル等, 病院等, 物販店舗等, 事務所等, 学校等, 飲食店等, 集会所等及び工場等のうち複合の用途に供する建築物であって, 複数の基準を適用するものにあつては, 建築計画及び設備計画を基準ごとに別葉で作成すること。

機 械 換 気 設 備 ( 器 具 表 )

注) ホテル等, 病院等, 物販店舗等, 事務所等, 学校等, 飲食店等及び集会所等のうち複合の用途に供する建築物であって, 複数の基準を適用するものにあつては, 建築計画及び設備計画を基準ごとに別葉で作成すること。

照 明 器 具 配 置 図 ( 基 準 階 )

注) ホテル等, 病院等, 物販店舗等, 事務所等, 学校等, 飲食店等, 集会所等及び工場等のうち複合の用途に供する建築物であって, 複数の基準を適用するものにあつては, 建築計画及び設備計画を基準ごとに別葉で作成すること。

給 湯 配 管 系 統 図

注) ホテル等, 病院等, 物販店舗等, 事務所等, 学校等, 飲食店等, 集会所等及び工場等のうち複合の用途に供する建築物であって, 複数の基準を適用するものにあつては, 建築計画及び設備計画を基準ごとに別葉で作成すること。

エレベーター計画図

注) ホテル等及び事務所等の建築物用途を対象とする。